

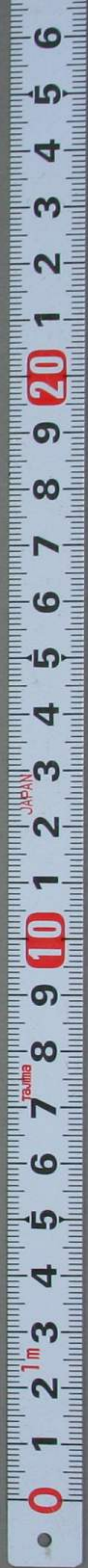


下

京之水

鳳乃卷

ル 4
3787
2



門凡生
號3737
卷 2

山内閣
圖書印

京のあ

鳳之巻

平安 權里 舜福 湘夕編

左京右京之記

左京右京坊塔等此制度ハ 文武帝の御時平城都小初備此
已も見えたり。志しれども其詳は事知る所なり 桓武帝今純
初以遷し後より。更に於て兩京坊塔乃制定嚴重なり
此れより已の制又 左京右京の廣さ東西の條三十二町南北の條
此れより推知 左京右京の廣さ東西の條三十二町南北の條
三十八町之朱雀通 今の本通へ北は朱雀門 左京右京の廣さ東西の條
幅二十八丈あり。これより東の分は九京なり。左京職を掌る其
中小所教六百八所保教百五十保坊教三十六坊あり 委ハ末は東の諸

大正
25.12.16
蔵

藤陰

京極といふ。朱雀通より西の分を右京といふ。右京職は堂内。其中
町敷六百八町。保敷百五十保。坊敷二十六坊あり。左京と同し。軍州と
ちりし西の端は初京極といふ。都々西京の惣號は平安城といふ。こ
都と稱し。軍州は遠近より集りて人の都會と爲る。謂れ又都と
いふ訓を榮華之花洛と云ふ。○王城と云ふは王の住居。王の父
孫の號城盛國都を盛受るの能く淮南子曰。鯨といふ人。禹王の父
城を初り造る。都城三重の差別あり。京城皇城宮城之。京城といふ
總都をいふ。是は平安城皇城皇城皇居の總構の内諸司百寮も
悉くの内あり。所謂大内裏といふ是は宮城皇城皇居の中央の
り。雍録六典云。唐の都城三重なり。外の一重は京城と云ふ。○京師は衆大を
内の一重を皇城と云ふ。又内の一重を宮城と號く云。

の名義。詩經公劉篇曰。陟南岡。乃覲于京。京師之野。允以都。畿曰都。
邑。宮立をなす。朱註。京ハ高丘あり。師と衆ハ高丘衆と
居る。董氏曰。所謂京師の號ハ高丘也。後世不逮。人々都を
と云ふ。京師といふ。蔡邕が獨斷云。天子都居所を京師と云ふ。京
水之地下の衆と云ふ。過たし。地上乃居をいふ。人々都を
京ハ大なり。師と衆あり。爾雅ハ京ハ高丘也。天子高丘に居りて遠
きを視の意。師と衆あり。人々民也。高丘と云ふ。衆と云ふ。○九重都と稱する
事ハ周禮匠人職不出。匠人營國方九里。旁三門。國中九經九緯。以
註曰。方九里。周の代は都の廣ハ四方三門あり。合て十二門あり。固
疏曰。十二門と云ふ。十二支と云ふ。國中と云ふ。皇城の宮城の事ハ

りて。經緯は道條なり南北を經り。東西は緯なり。一門毎に
之を有りて東西をあり九乃條あり。此は九經九緯と云ふ。是尋
九重の準也。又禮記の天子之門九重とあり。楚辭の九辨の君の門九重
とあり。註曰天子九門。關門。遠郊門。近郊門。城門。臯門。雉門。
○左京は洛陽と號をば名義は尚書洛誥篇に出たり。註孔安國曰
澗水瀍水の間ありて南は洛水に近し。此今の洛陽ありて爾雅曰
山南水北を陽と云ふ。洛邑は洛水北にありて洛陽と云ふ。又後漢の時
都は洛陽に移り。東西二十里。南北五里。民家十萬餘戸。方三百歩。公門で
一里。凡里多西門を闢く。上東門。中東門。耗門。開陽門。苑門。津門。廣陽門
十二門。又後魏の高祖都を洛陽に遷し。九達と云ふ。此は後漢以來都邑の

制法なり。○右京は長安と號をば名義は漢の時長安城あり。
經緯をあり。三十二里十八歩あり。四面に三門九達あり。周禮の制に相
同し。漢の舊儀曰長安城中の經緯をあり。三十二里十八歩八街九陌
三宮九府三廂十二門九市十六橋とあり。霸城門。清明門。宣平門。覆盎門。
雍門。洛城門。厨城門。橫門。又唐の時長安の都は京城と云ふ。北周
并隋の時此舊法なり。初北周の時長安は分り萬年縣。長
安縣と云ふ。隋の時改り大興縣と云ふ。唐の代にあり。高祖の時舊号不
復し。又高祖長安に二縣を建てたり。萬年縣。宣揚坊。朱雀街の以西五
十四坊を領す。洛と云ふ處の政所あり。唐の長安京城は十門あり。東西

南の三方はあく三門あり。北の一方は一門あり。皇城ハ京都の中央ありて東西五里百十五步。南北三里百四步。東西はあく二門。南は三門ありて中央を朱雀門とす。又洛陽ハ東都儀置々皇城ハ都城の西北の隅あり。記上唐の典不詳。本朝の制全。唐の代不據ル。見へて。通化門。春明門。延興門。東面の三門。啓夏門。明德門。唐長安京城十門。安化門。南面の三門。延秋門。金光門。開延門。北西面の二門。光化門。北面の二門。延喜門。景風門。東面の二門。朱雀門。安上門。含光門。内裏ハ所あり。旋もたれ。戦湯あり。遠ハ保元平治の乱。嘉永元曆ハ軍馬此岐。

唐皇城七門

京程圖解

平安城の制。延喜式不載とす。星霜累々。内裏ハ所あり。旋もたれ。戦湯あり。遠ハ保元平治の乱。嘉永元曆ハ軍馬此岐。

あつ。正慶建武ハ劍花散。尊氏西渡羅を臨。正成ハ東寺不教。足利之代のまほハ。舊制に。又む。の十。及。而。明徳此乱。及。京城郊原。室町。日記。天正十八年。豊臣秀吉公。六十餘州。属御手。四海。静謐。治。以。法。橋。紹。巴。み。を。見。つ。ま。た。ゆ。々。々。西。東。山。お。り。は。た。み。か。耕。作。の。地。西。大。宮。を。あ。く。ハ。塔。塔。を。奉。へ。押。通。つ。田。畠。之。四。方。の。際。の。河。水。も。男。も。形。く。田。舎。此。在。郷。の。如。く。幽。齋。を。石。花。洛。と。反。昔。を。云。傳。へ。め。此。と。京。都。の。分。野。を。在。つ。の。如。く。北。ハ。何。れ。南。ハ。此。と。す。洛。中。洛。外。此。

塙を末代と相定べし。都の四記がさかぬと伝ふれり。出云
 畏く釋せしむる。云。於是洛中の封境に諸侯不位。四方不
 終ふ。然るも。町小路の本名は春の異名を多く。呼て舊四法
 威と。故に今式文を解し。九陌の古號道路の間丈。今時の京程比と
 率ち不記。一也。蓋多歴久遠。形も微細。不舊。觀に察と。内
 後の後才との葦塞は。廿丈。対變。或監ふと。

式は京延喜式の丈。拾芥抄山城名勝志。山州名跡志等。同文あり。

⑤京程南北一千七百五十三丈。又北一條より南九條まで三十八町の大
 女。大洛小路の道幅。墮溝は。度と。各一。一丈。敷。一町。の。長。四。丈。は
 今時の一町の長。六。寸。間。の。後。と。い。う。相。當。と。し。て。四。十。三。町。半。十。三。丈。と。ぬ。る。

九重緯條路之部

一條 皇城北面の大洛へ度十二丈。南類ハ皇城より。築垣の厚。七。尺。あり。
 六尺五寸。墮の度。八尺。又北類ハ。凡て大洛の制。一。築垣の厚。六。尺。二。之。半。分。
 乃。幅。小。切。て。三。尺。三。寸。築垣より。墮溝。を。引。大。洛。と。い。ふ。五。尺。溝。の。度。四。尺。二。南。北。北
 墮溝。塙。地。大。洛。築垣の。半。は。十二丈。の内。引。道。幅。七。丈。と。高。大。洛。小。洛。ハ
 一。同。圖。ハ。一。條。大。洛。十。丈。と。り。
 傳寫の謬。あり。

正親町 度四丈。中立賣より。南側北側とも。垣あり。厚。五。尺。之。半。分。道
 度。三。尺。二。寸。道。幅。は。丈。の内。引。て。三。尺。三。寸。引。て。兩。溝。の。間。二。丈。三。尺。と。高。小。洛。の
 分。經。緯。と。も。み。ぬ。ち。ぬ。る。

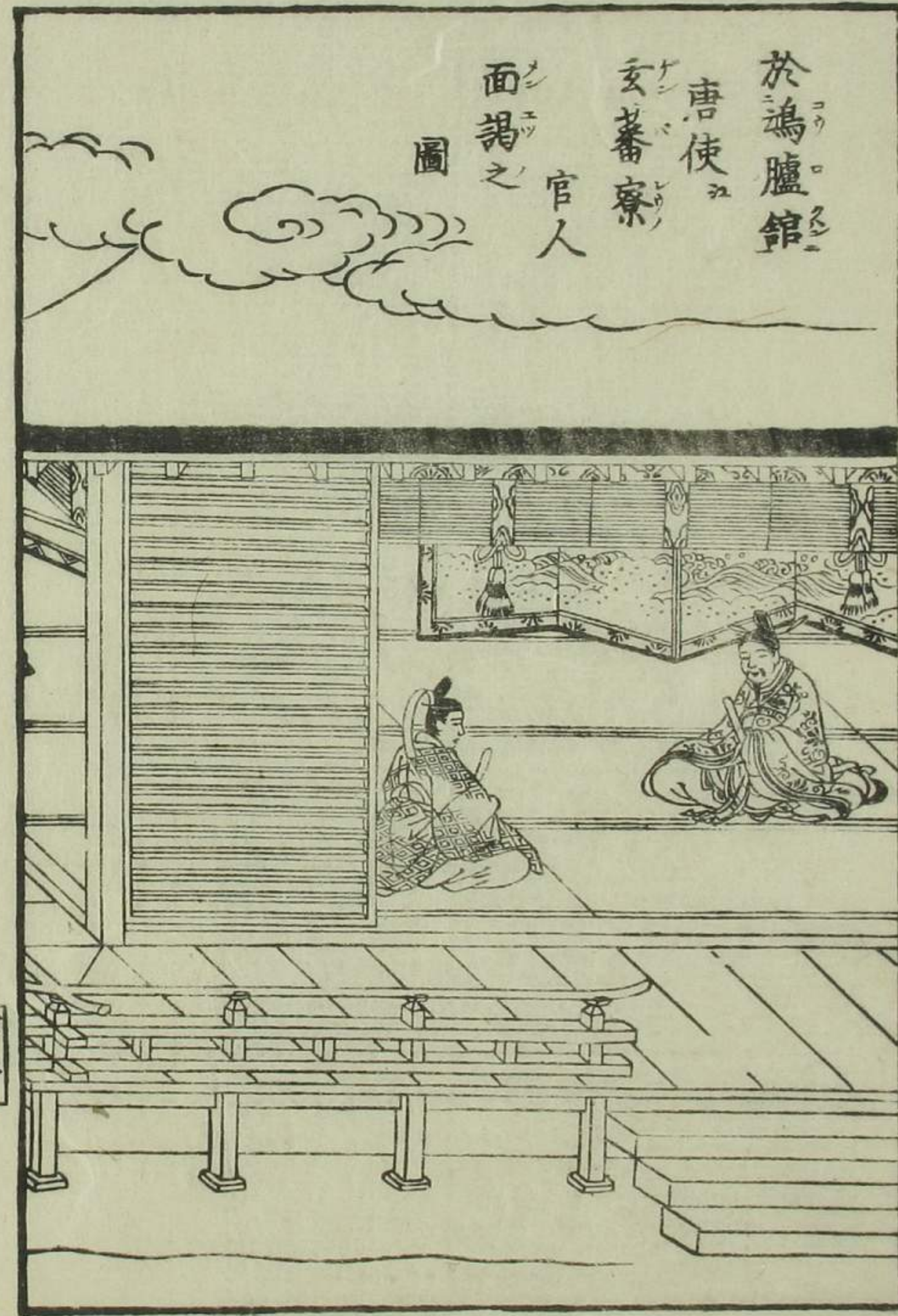
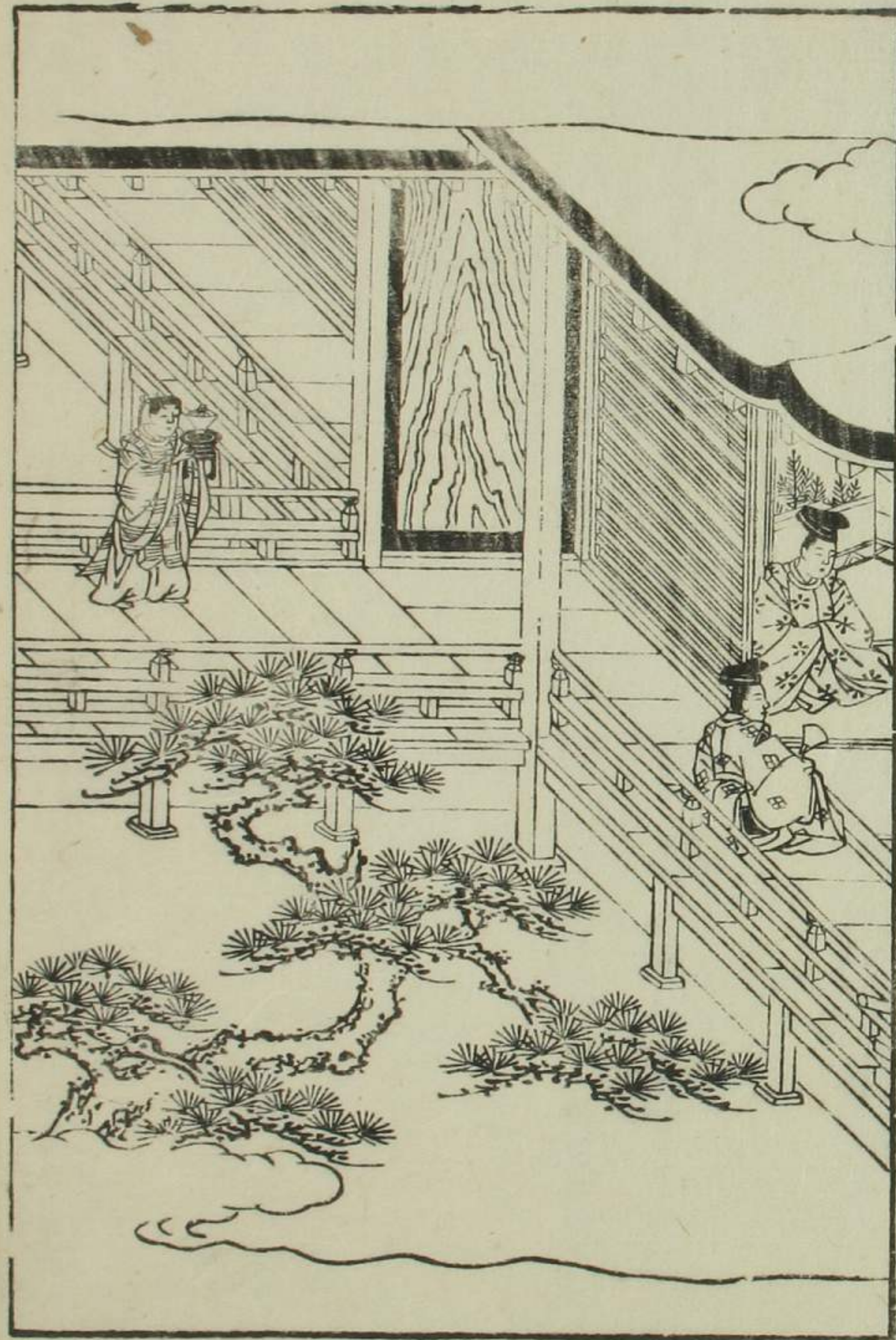
土御門 度十丈。上長者町より。小洛の半。三。尺。大。洛。五。尺。溝。の。度。三。寸。の。

雁鳥司 度四丈。下長者町より。

近衛 度十丈。出水通より。

中御門 度十丈。榎木町より。

勘解由小路 度四丈。下立賣より。



於_ニ鴻臚館_ニ
 唐使_ヲ
 玄蕃寮_ニ
 官人_{トシテ}
 面謁_ス
 之_ノ
 圖

春日 慶長丈 九太町と云
大炊御門 慶十丈 竹屋町と云
中御門の准と

冷泉 慶長丈 夷川と云
春田の准と

二條 皇城南面の大路朱耀門の南通へ慶十七丈北頬八内裏の築垣にて厚
七尺堀地二丈六尺寸墮の慶八尺を耳敏川と云。南頬八内裏の基
より半二尺大竹五尺。儀の慶九尺北頬築地の半等儀を合して五丈ある
十七丈の中にて足を引たる幅十二丈

三條坊門 慶長丈 八幡町西へ八内裏通へ云
三條坊門 慶長丈 堀小路の准と

姉小路 慶長丈 三條坊門の准と

三條 慶八丈南北西側も築垣五尺式置半三尺と云。大竹五尺西隣の慶九尺
尺にて都合して二丈八尺を引たる幅五丈六尺あり

六角 慶長丈 東へ築垣五尺と云
四條坊門 慶長丈 銷茶師と云
六角の准と

錦小路 慶長丈 初ハ養真小路と云。後世綾小路と云。錦小路と改む
道幅に三條坊門の准と

四條 慶八丈堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

五條坊門 慶長丈 佛光寺通へ云
綾小路の准と

五條 慶八丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

六條坊門 慶長丈 五條橋通へ云
堀口の准と

六條 慶八丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

七條坊門 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

七條 慶八丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

八條坊門 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

八條 慶八丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

九條坊門 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

九條 慶十丈 平安城南方の封境ニ羅城門の外築垣の半三尺大竹七尺溝の慶九
一丈五尺と十二丈の中にて引たる道幅十丈と

高辻 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

堀口 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

楊梅 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

佐女牛 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

北小路 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

梅小路 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

針小路 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

信濃小路 慶長丈 堀溝の慶長幅三條小
准して五丈六尺と

長安之部

右京と左京とを分ちて計る所凡十町許あり其東の内野あり是皇城の舊地也て大内此之

長安東西の條路洛陽より直下通じて大路小路も同號之
道幅の丈數築垣大行溝等の間丈も其相同ト。圖中又委々此
を略し長安の町小詠ふ古より異名少々ありちこ載を

音町

長安正親町

西土御門

長安土御門通

筑紫町

雁鳥司通

西近衛

口を街通

松井

雷解由小路

西中御門

口の中御門通

木蘭

春日通

馬寮大路

口大炊御門通

經師町

冷泉通

北極并次四大路廣各十丈

北極は一條通じて四圖に廣す十二丈たり

次四の大路八土御門近衛中御門大炊御門之廣す十丈たり

宮城大内南大路十七丈

南大路は内裏の外郭南面朱雀門の

二條通入廣す十七丈たり北側の堀を耳敏川といふ

次六大路各八丈

三條四條五條六條七條

八條等の六の大路は廣す八丈たり

小路二十六廣各四丈

正親町

春日冷泉瘧小路三条坊門堀小路六角

錦小路綾小路五条坊門高辻樋口六条坊門楊梅

左文牛 七条坊門 北小洛 桂小洛 八条坊門 梅小洛 針小洛

九条坊門 信濃小洛 ちりりの度サに丈つとりひみえ

⑤南極大路十二丈 是は京城南方の封境九條通を南極よりひみえの

度サ十二丈とひみえの△羅城外二丈 垣基半三尺 大行七尺 是は羅城門

の外九條大路の間の二丈ありて其中より築垣の半分三尺は溝の

大初七尺溝の度サ一丈合て二丈は十二丈の中をえとひみえ△路廣十丈

是は九條通十二丈の中門外の間二丈は缺て道の度サ十丈とひみえ

⑥町三十八各四十丈 是は洛陽長安より北極一條より南極九條と

りひみえの方六十間を町とひみえ

④東西一千五百八丈 通計東 東西は洛陽長安の兩京なり

東京極より西京極まで三十二町の町敷より大洛小洛の尺幅を

丈敷なり。東西支系を通計しては。左京右京に東より西へ通

計合しては。四十丈を六十間を町と接しは。三十七間半八丈

小相當とひみえ

洛陽南北道路之部 東より

京極 東極は東極の東極の今寺町御本町の形なり。⑤度十二丈西側築垣

の半三尺大初五尺溝の度サに尺。東側垣の半三尺大初七尺溝の

度サ一丈是は公館の二丈を合

富小路 度サ一丈東側例西側とも垣なり。厚五尺は公館の半三尺は

東極の外畔に至るまで七十五丈の御敷

東極の外畔に至るまで七十五丈の御敷

東極の外畔に至るまで七十五丈の御敷

万里小路

度八丈今折馬場より

高倉

度八丈今折馬場より

東洞院

度八丈今折馬場より

烏丸

度八丈中御門より

室町

度八丈中御門より

町

度八丈中御門より

西洞院

度八丈中御門より

堀川

度八丈中御門より

大宮

度八丈中御門より

櫛笥

度八丈中御門より

皇嘉門

度八丈中御門より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

今折馬場より

朱雀

皇城南面經の大御門より北は朱雀門あり。南は羅城門あり。東は

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

長安經

の道は洛陽より易らに。又十六の街に設く。大御門より同号

無武小路 長安富小池を 西京極 長安城の極あり 山内村西の極あり

⑤ 朱雀大路中央至東極外畔七百五十四丈 朱雀通廿八丈を等分して十四丈なり。東京極外畔まで朱雀の中央より東へ十六の町。大池小池の築垣大行溝道幅を合する丈ぬん

⑥ 朱雀大路半廣十四丈 朱雀通廿八丈を等分する丈ぬん

⑦ 次一大路十丈 壬生通の度なり。洛陽ハ美福門に當り。長安ハ皇嘉門に當り

⑧ 次一大路十二丈 内裏の東面を東大宮より西面を西大宮より

⑨ 次二大路各八丈 西内院東内院の度なり此丈ぬん

⑩ 東極大路十二丈 東極通の丈ぬん一説に十丈なり後世を改り

⑪ 小路十一各四丈 一小路四丈堀川より富小池 万里小池 高倉 烏丸 東西邊各二丈

室町 町尻 堀小池 堀川 南市門 匣 坊塚 等十一の小路 廣四丈より八丈人。一小池堀川の邊を加ふれば堀川東西の川端二丈あり。其中小川あり。今より堀川西堀川

⑫ 町十六各四十丈 洛陽の南東極より朱雀通まで官家民家の位居あり町負十六町。壱町の度なり四丈より八丈人。今平間を町に相當に

⑬ 右准此 長安と洛陽の町負道幅もこれに准して同じ半なり

⑭ 朱雀大路廣二十八丈 朱雀通の度なり △自垣半至溝邊

各一丈八尺 垣半三尺 是町の四丈の隙より垣の半とを二尺。それより溝の邊まで大行一丈五尺 是町の四丈の隙より垣の半とを二尺。それより溝の邊まで大行一丈五尺を合して一丈八尺なり。東西兩側をあはれん

をのくく書きたる△溝廣各五尺ミナノヒロサは朱雀通のり、兩溝の度ナレ。け新ハ御溝水の下流へ△兩溝間二十三丈四尺リヤクミツノマタは朱雀通の度ナレ。十八丈の内にて兩側の垣北基ツチノモト犬行溝の度ナレと都合し、一丈六尺引ひ大溝の度ナレ二十二丈八尺とりひみ

⑤大路廣十丈ヒロサは壬生通の度ナレ△自垣半至溝邊八尺ツチノモト垣基三尺ツチノモト大行五尺オホウチは同街兩側の垣北基ツチノモト犬行の尺數に都合し、一丈六尺△溝廣各四尺リヤクミツノマタは壬生通の兩溝北度ナレと都合し、八尺△兩溝間七丈六尺リヤクミツノマタは壬生通の垣外行溝の丈數二丈八尺とれを十丈の内より引ひ七丈六尺とりひみ

⑥宮城東西大路廣十二丈ヒロサは内裏東西面の兩大宮通の度十二丈とりひみ、自宮城垣半至隍外畔三丈八尺ツチノモトは垣の半三尺六寸、埴地二丈六尺五寸

隍の度八尺ツチノモト等々以都合し、一丈八尺とりひみ、自傍町垣半至溝外畔一丈二尺ツチノモトは東大宮通ハ西類ハ皇城ミヤノキ東類ハ町を、西大宮通ハ東類ハ皇城ミヤノキ西類ハ町を、其兩方の民家の基より垣溝等の丈數へ

⑦大路廣各八丈ヒロサは壬生通のり、東院西院の度ナレ△自垣半至溝邊八尺ツチノモト垣基三尺ツチノモト大行五尺オホウチは兩大路の垣外行の尺數に都合し、一丈六尺△溝廣四尺リヤクミツノマタは同く兩大路の溝北度ナレと、△兩溝間五丈六尺リヤクミツノマタは同兩大路の度ナレの内、垣外行溝等引ひ道幅八丈六尺とりひみ

⑧小路廣四丈ヒロサは洛陽長安の小路の度ナレ△自垣半至溝邊五尺五寸ツチノモト垣基二尺五寸ツチノモト大行三尺オホウチは小路の丈例より、垣外行の尺數に、丈例合さず、丈三尺△溝廣三尺リヤクミツノマタは小路の丈例より、溝の度ナレ、令一丈八尺△兩溝間二丈三尺リヤクミツノマタは小路の

度さ四丈の内。垣の基大行溝等五側して五丈七尺を引て道幅二丈二尺

とつみ我あり

⑤宮城四面自垣半至墮邊三丈 垣基三尺五寸 一條 二條 垣地廣二丈六尺五寸

東大宮西大宮の皇城四面垣の基より四方の墮まで三丈とあり。垣地は

⑥宮城南大路廣十七丈 宮垣半三尺五寸 宮城南大路は二條通の 垣地二丈六尺五寸

北類朱雀門のあたりに墮の度すを耳敏川とつみ。此所を御教り半公事

根源かえつり

ま本 みかみふみどほをほ教りてつみをな神もまらん 中院入道 右大臣

△南垣半三尺大行五尺 墮廣四尺 二條通南側の尺教へ合て五丈

△墮溝間十二丈 皇城の方公墮とつみ。町の方とつみ。二條通墮溝の同道幅又教へ

⑦凡町内開小徑者大路邊町二弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈

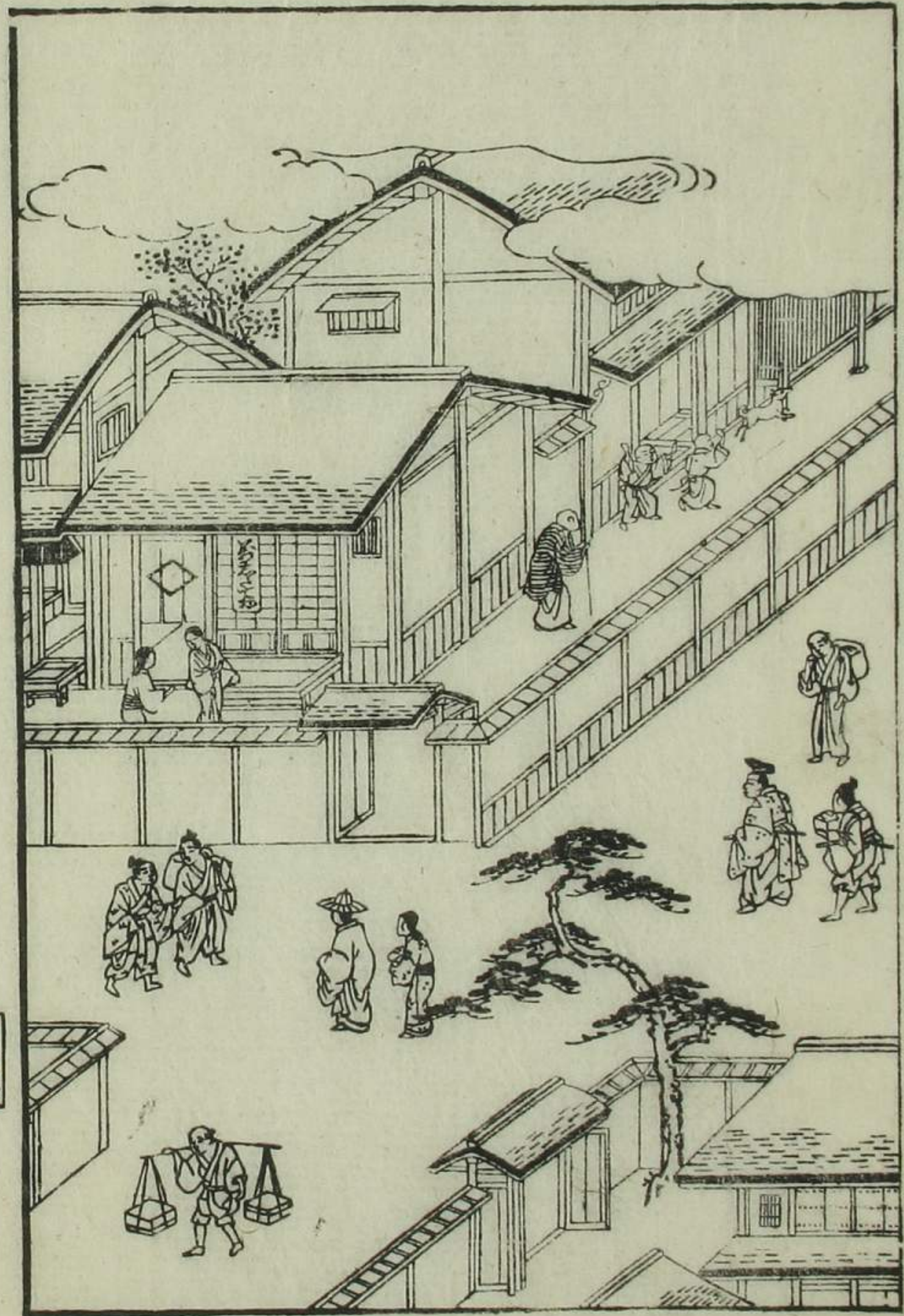
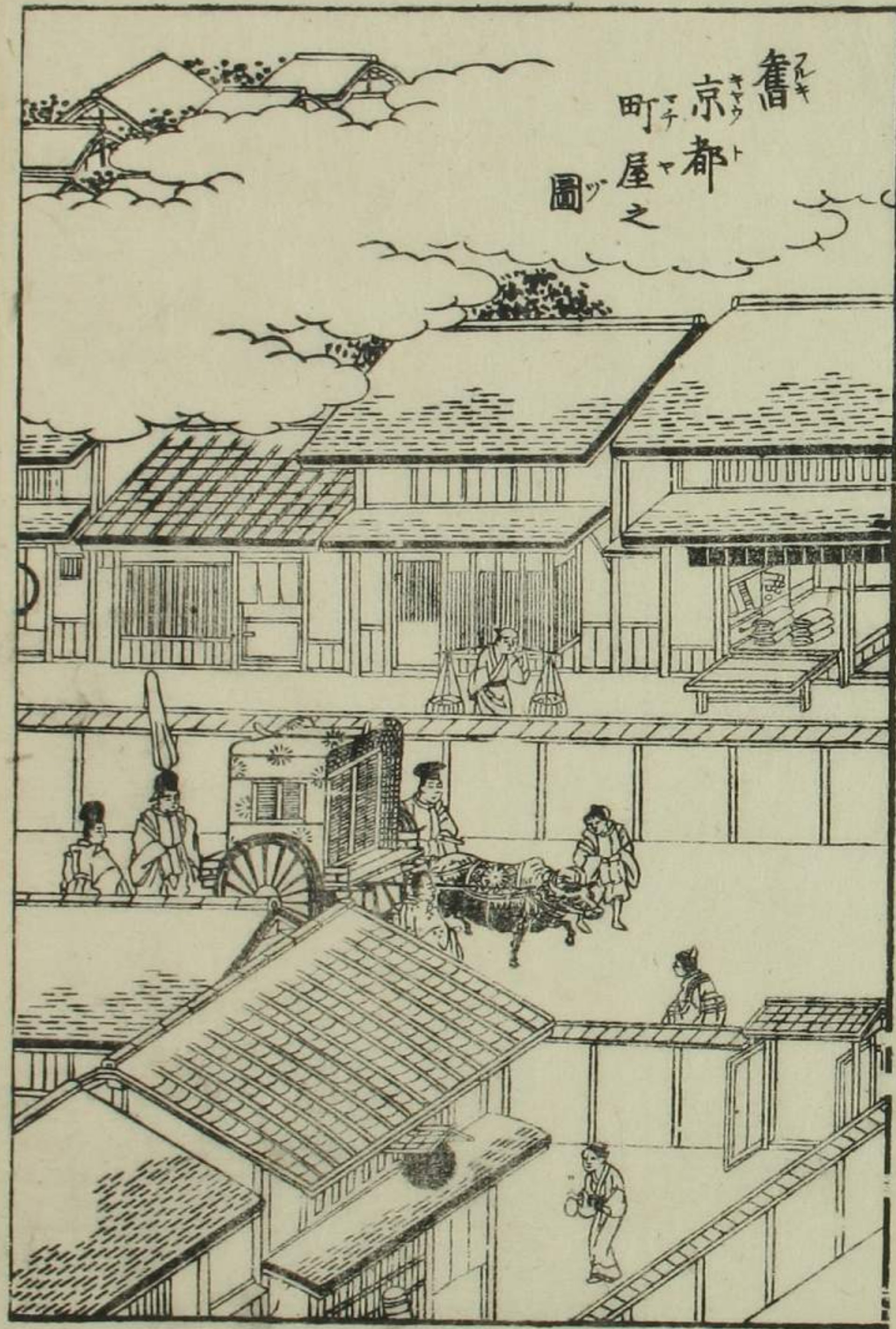
小徑は開く四尺の四十丈は裁く道幅一丈五尺を二の和とハ

⑧市町三弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈 弘一丈

凡て市町十町の間八兩側共お築垣那し。民家計りて狹小

⑨自餘町一廣一丈 廣一丈 廣一丈 廣一丈 廣一丈 廣一丈

五尺の式目。されは法令より悉くおあり



式 凡築垣坊程榜示條防莫令違越（是亦城の式目にして後代不
至るまじく築垣の尺教坊門の程の定め違犯致すべからざるなり）は
令々築垣の工役延喜式此本式（モトモト）なり

式 凡左京右京（限以中央）右九坊門一條右四坊（坊門の解ハタモシハヨリニ
未トス）坊門弘仁
九年所定（弘仁九年ハ嵯峨天皇の御宇なり平安兩朝
延喜十二年より十六年の後）

式 凡宮城四面牆内不得積物不聽停馬（是ハ内裏四面牆の内ハ
雜物を積るゝ又ハ馬を敷く事とせざらん）式目見

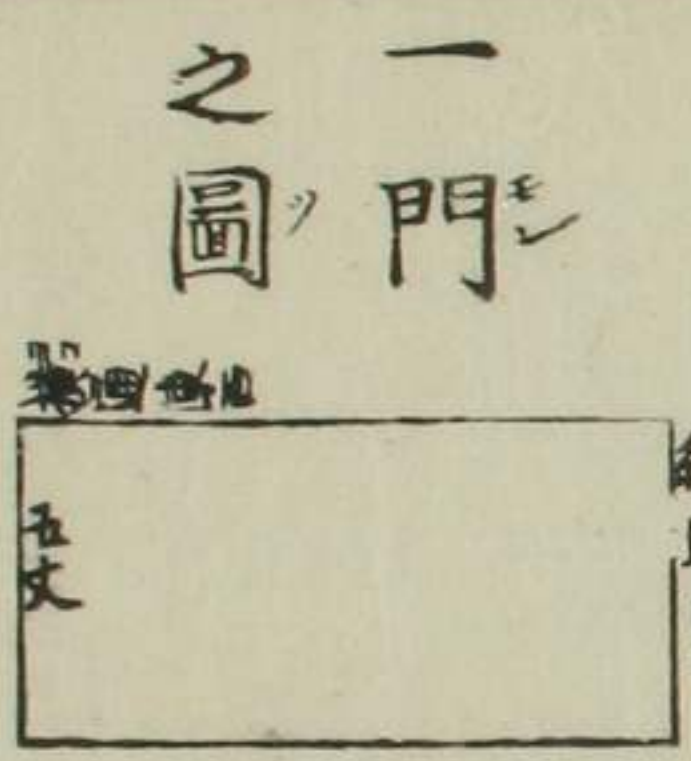
式 又建門屋於路頭聽三位以上四位參議自餘四位五位者不可立之
門至八町小洛（小洛ハ建門）自餘四位五位ハ常の町小洛の門より往來し
自身の内ハ垣（立）を（り）ん（と）ん（と）式目見

式 諸舍屋簷檣出路頭并他人領地方者科不應輕重可祈并
是ハ洛中舍屋の法令なり（と）ん（と）ん（と）式目見

式 東西二京千二百十六町（圖記ハ異説多シ）△坊七十二坊（左京三十六坊
右京三十六坊）△保三百保（左京百八十保
右京百八十保）

京城坊保之圖解（坊保の條ハ民家
一戸より起ル）

縦通南北

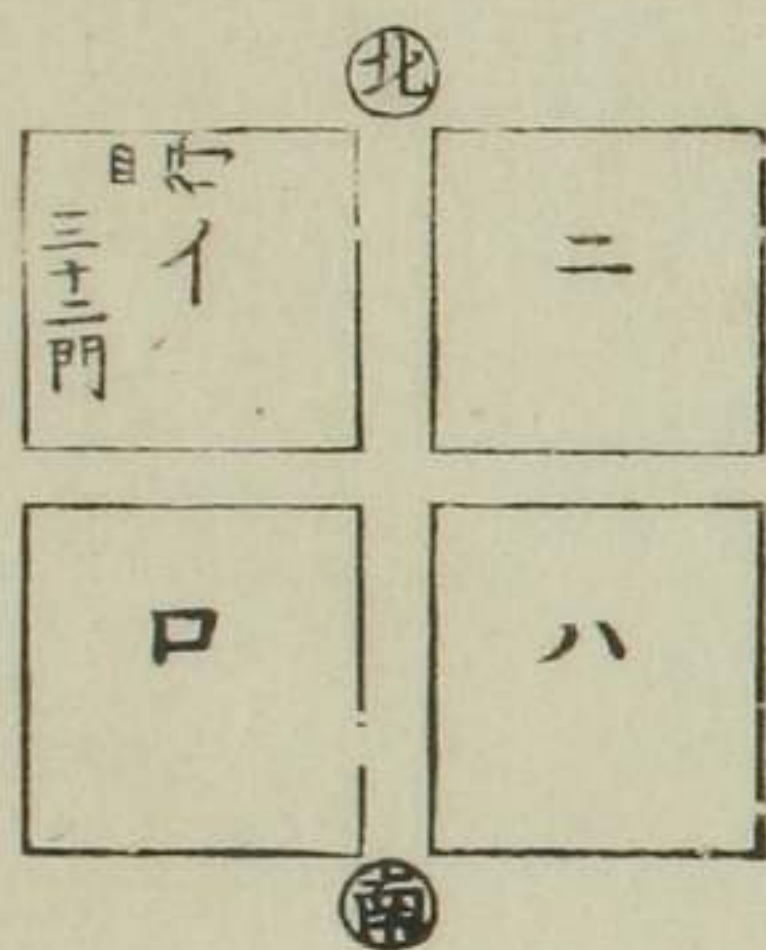


一内より六間口五丈奥初十丈と定まは法令より
縦横の所ハ拘らば民家一戸のゆへ今俗ハ
一坊役あり不當。左京ハ皇城の右西北より
多入始。右京ハ東北よりかか入ん

一門之圖

五丈

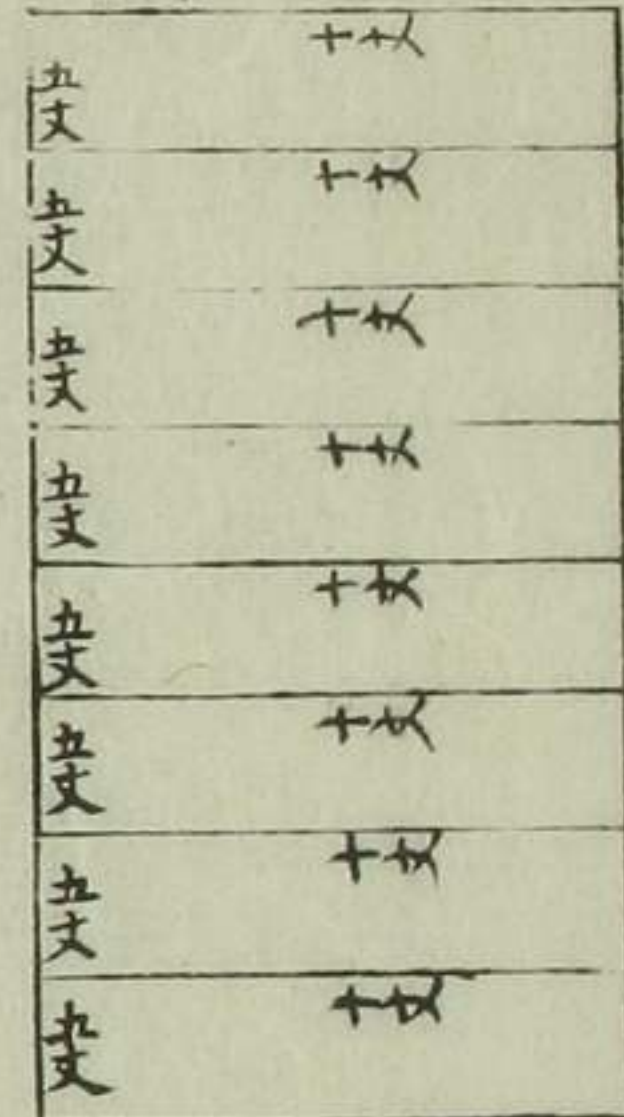
一保ノ圖



一保ノ形ハ糸ノ四行此圖を四目結の如く
 四合テ二町四方ニたゞ且ニ條ノ北側より
 姉小池を截テ之を東坊門^{八幡}の南側より
 室町の東側より烏丸^九截テ東洞院
 の西側より四町一保ノ號^九を
 唐の代此制ニ左系ハ西北より右系ハ
 東北よりなり

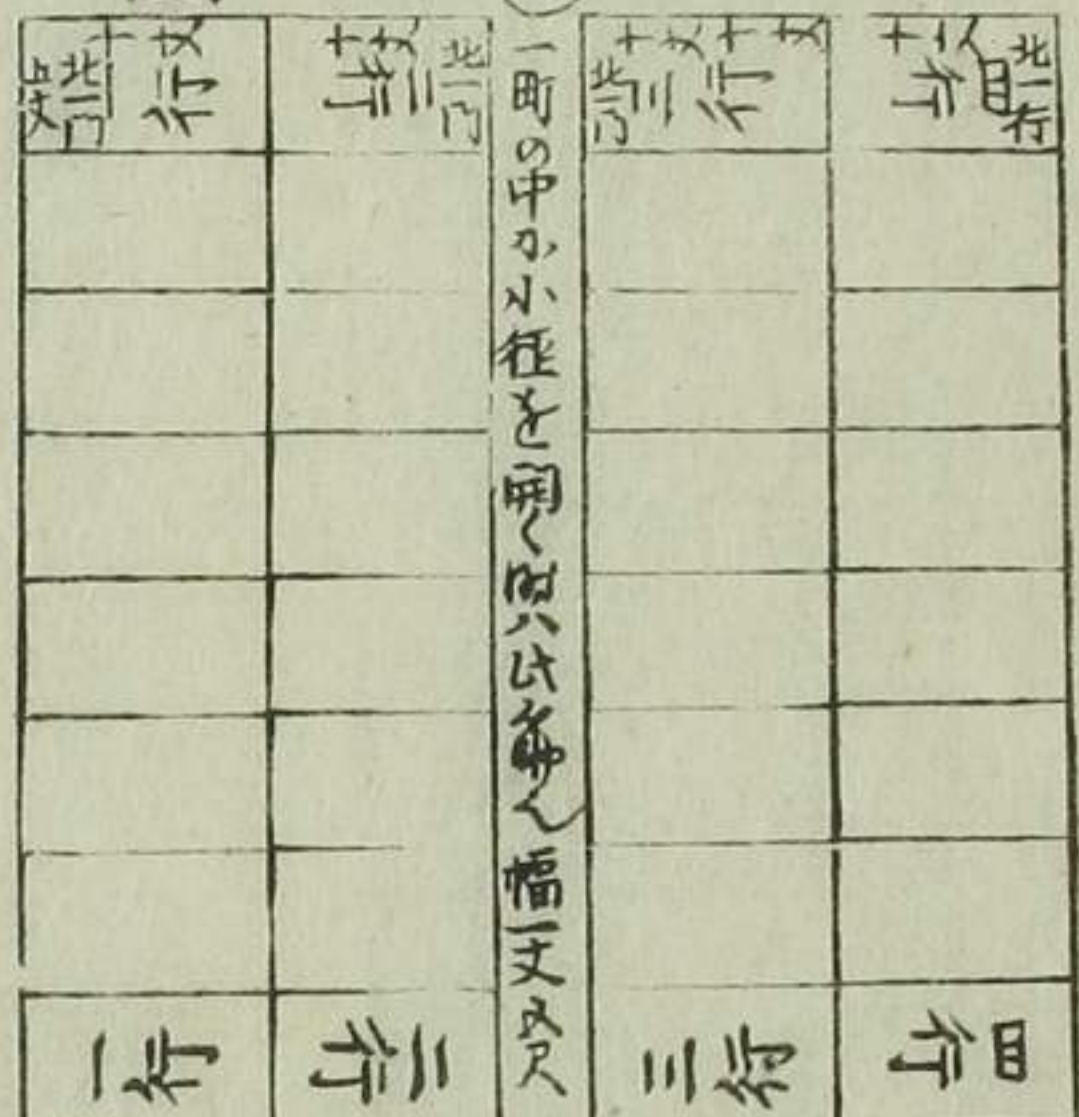
四行の體ハ後世に至るも諦^{アタ}分^カれり。横通^{ヨコトウ}東^{トウ}平^{ヘイ}安^{アン}塚^{ツカ}園^{エン}關^{カン}の條
 小^コ池^{イケ}を截^キテ。縦通^{タテトウ}北^{キョウ}南^{ナン}を上^ウ吉^{キチ}の^ノ條^ノ陪^{ヘイ}也^ヤ。今^{イマ}在^ア存^ゾ
 の^ノ親^{シン}分^{ブン}町^{チヨウ}堀^{ホリ}町^{チヨウ}間^マ之^ノ町^{チヨウ}車^{クルマ}之^ノ町^{チヨウ}兩^{リウ}替^カ町^{チヨウ}衣^イ棚^{ナガ} 釜^{カマ}之^ノ座^ザ
 小^コ川^{カハ} 醒^サ井^イ 岩^イ上^{カミ} 新^ニ町^{チヨウ} 町^{チヨウ}之^ノ後^{ノチ}世^ヨに^シ速^スニ^シ出^デ来^キル
 是^{コト}四^ノ行^ノ間^ノハ^ニ小^ノ洛^ノ 護^ゴ之^ノ式^ノ丈^ノの^ノ證^ノ也

一行ノ八門ノ圖

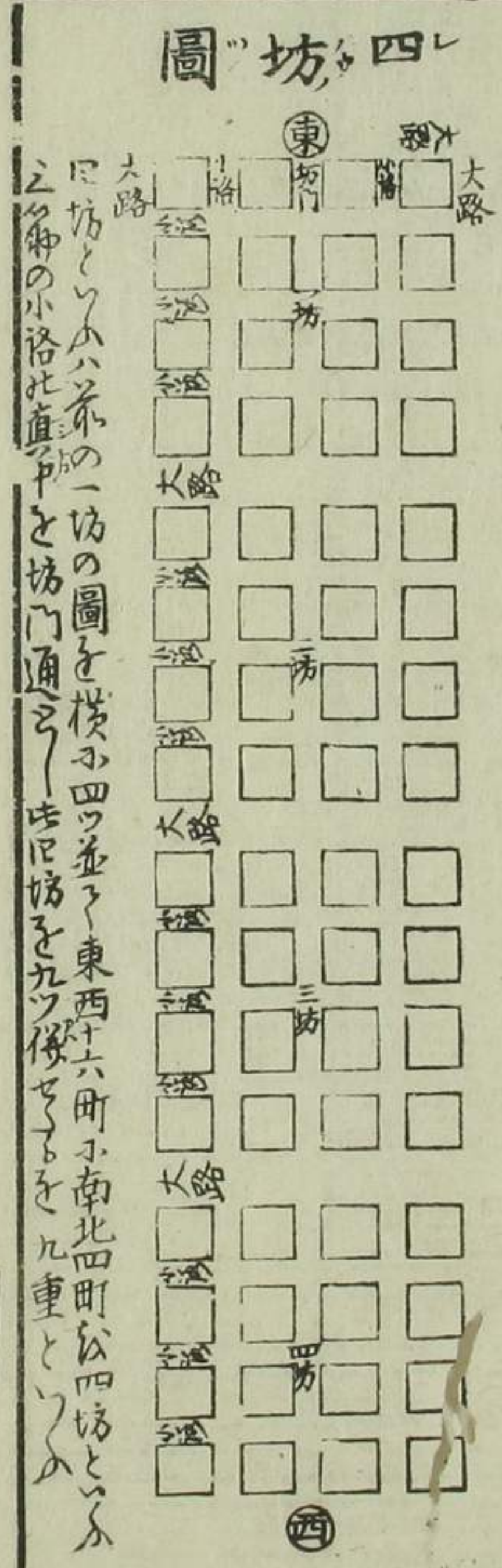
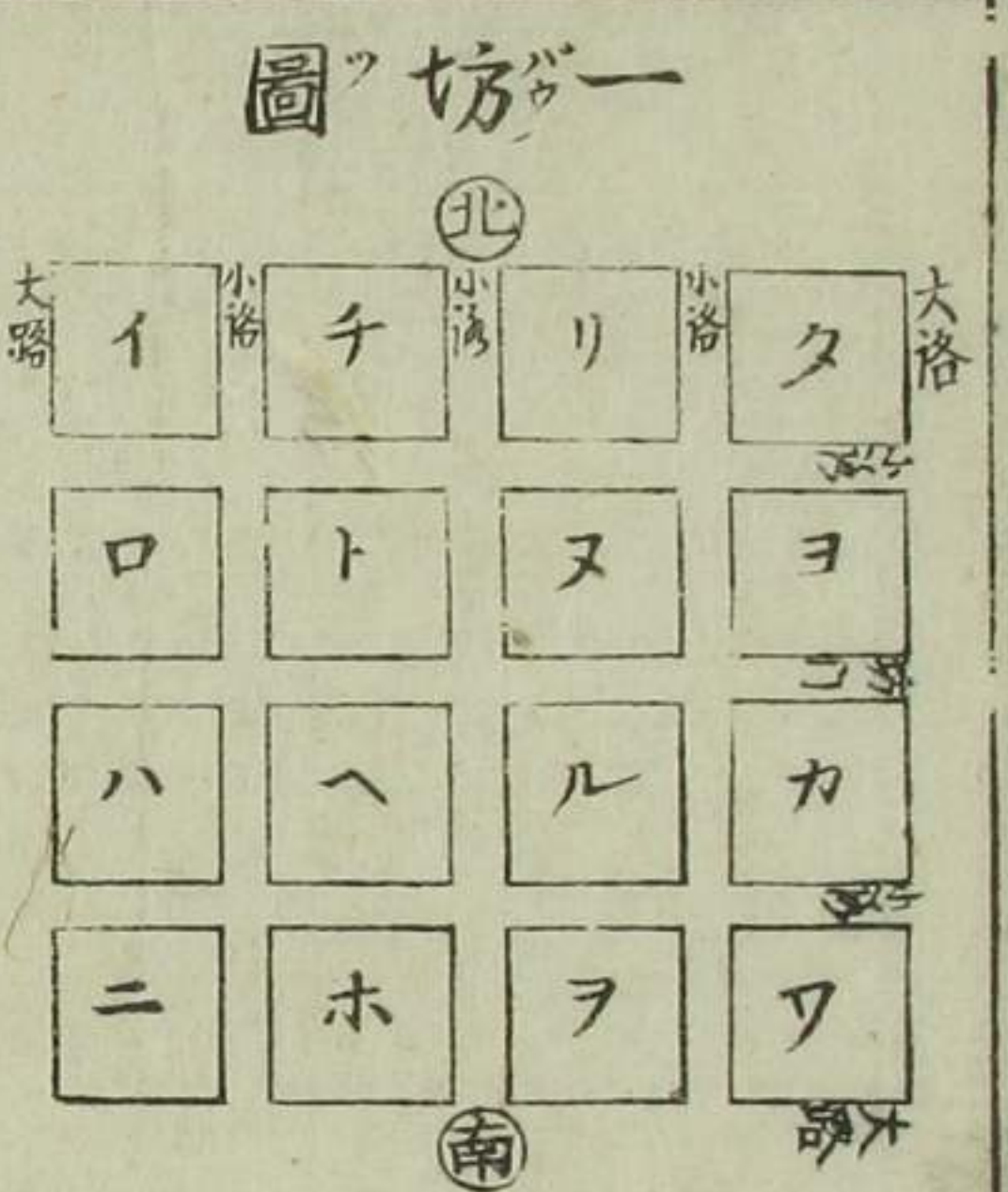


横通^{ヨコトウ}を町^{チヨウ}の^ノ北^{キョウ}より^{シテ}十^{トウ}丈^{チヨウ}公^{キョウ}田^{テン}ヲ^{シテ}截^キテ
 十^{トウ}丈^{チヨウ}ハ^ニ一^{トウ}行^ノと^{シテ}縦^{タテ}通^{トウ}を^{シテ}町^{チヨウ}の^ノ北^{キョウ}より
 四^シ丈^{チヨウ}を^{シテ}入^イレ^テ截^キテ^ハ八^{ハチ}門^ノと^シテ
 今^{イマ}の^ノ町^{チヨウ}を^{シテ}斤^{シヤウ}側^ノの^ノ獲^{ツク}入^ノ左^サ東^{トウ}電^{デン}
 右^{ミナミ}系^ノハ^ニ東^{トウ}北^{キョウ}より^{シテ}の^ノ如^ノキ

二門ノ圖



此^{コノ}圖^ノハ^ニ町^{チヨウ}ノ^ノ北^{キョウ}より^{シテ}四^シ丈^{チヨウ}四^シ方^{ホウ}ノ
 前^マノ^ノ圖^ノ北^{キョウ}縦^{タテ}通^{トウ}四^シ丈^{チヨウ}と^シテ^ハ八^{ハチ}門^ノを^シテ
 八^{ハチ}門^ノと^シテ。横^{ヨコ}通^{トウ}四^シ丈^{チヨウ}を^シテ^ハ四^シ行^ノを^シテ
 截^キテ^ハ四^シ行^ノと^シテ^ハ四^シ行^ノハ^ニ八^{ハチ}門^ノを^シテ
 小^コ池^{イケ}ハ^ニ三^{サン}丈^{チヨウ}と^シテ。田^{デン}北^{キョウ}の^ノ何^{ナニ}及^キ幾^キ
 町^{チヨウ}ノ^ノ北^{キョウ}より^{シテ}左^サ系^ノハ^ニ内^{ウチ}裏^ノの^ノ方^{ホウ}北^{キョウ}
 より^{シテ}右^{ミナミ}系^ノハ^ニ東^{トウ}北^{キョウ}より^{シテ}の^ノ如^ノキ



一坊といふは第一保の圖又四目録の
ちくく四併せき二町四方町十六町之
縦横も外側を大路中を小路
之御あり。モ之御の中北藤坊門通
り九重をくくを圖の如く賦し
一坊二坊三坊四坊あり。左系あり
始右系あり。

一條 桃花坊 一系より土御門を

侍中群要曰一條坊 土御門より南中御門まで横町の今一坊
北多と號を 北多大路と云づく 一坊 土御門より南中御門まで横町の今一坊
大宮と云 二坊 大宮より東御門まで 三坊 東御門より南中御門まで 四坊 南中御門より南
一坊といふは第一保の圖又四目録の
ちくく四併せき二町四方町十六町之
縦横も外側を大路中を小路
之御あり。モ之御の中北藤坊門通
り九重をくくを圖の如く賦し
一坊二坊三坊四坊あり。左系あり
始右系あり。

圖中名の遠近一條多屬を考へて既註を加ふ

世尊寺

一條の北大宮のふ。原ハ貞純親王の家
攝政伊尹公傳領

桃園

世尊寺の南。保光卿の家
行成卿傳領

一條院

一條の南大宮の東二町謙徳公の家。又法任寺入道
爲光卿の家

東北院

一條の南多菰の東
上東門院御所
西北院 一條の南多菰の西
同御所

染殿

正親町北多菰の西
忠仁公の家

清和院

正親町南多菰の如
清和帝母后御所

北邊亭

土御門北西洞院の如左大臣源信公の家。三代實録曰左大臣、嵯峨帝の皇子源氏の家。一布帛。率性強雅。風尚恒。又圖画。工。丹青の妙。公書傳を讀。兼て草隸を嘉。又圖画。工。丹青の妙。公得て。殊の馬形。不真を寫。とて。公。文徳帝の外。叔。りて。又後撰集の作者あり

棗殿

土御門の南東洞院の西二町
拾芥抄曰左大臣の家 詳未考

高倉殿

土御門の南高倉の西 昭宣公の家
又左大臣仲平公の家

鷹司殿

鷹司の北二町 万里小路の家
從一位倫子の家

土御門内裏

土御門の南烏丸の如 天子時々此地あり。御遊。是。准。を。里。内。裏。と。俗。に。い。ふ。別。業。人。を。是。より。下。の。町。小。路。の。後。裏。系。非。く。多く。大。内。裏。の。時代。也。

京極殿

土御門の南二町多菰の如 上東門院の家。後一條。後朱雀。後冷泉。三代の幸。生所。也。隆。誕。ま。り。皇。后。四。人。を。わ。て。誕。生。ら。ん。

枇杷殿

隆。誕。の。如。東。洞。院。の。西。左。大。臣。仲。平。公。の。家。又。昭。宣。公。の。家。

小一條

近衛の南東洞院の如 師尹公の家。一説ハ山吹殿。後凡。清和帝。隆。誕。所。又。貞。信。公。傳。領。

華山院

近衛の南東洞院の如 本ハ東一條と号く。式部貞保親王の家。貞。信。公。傳。領。一。由。後。花。山。院。と。号。居。一。の。家。

菅原院

顯解由小路の南烏丸の如 原ハ長善卿の家。後菅原太政大臣の御殿。後。世。歡。喜。光。寺。と。号。一。北。野。祭。の。日。神。官。生。所。未。マ。枇。杷。を。取。て。

本院

滋野井

二條銅駝坊二坊

三坊

櫻町

高陽院

石井

内記井

近院

神傳不詳... 六条の道場と云ふ... 天正年中... 松殿八押の方四分一と云ふ

中御門の北堀川の東一町... 左大臣時平の家... 許制... 勅諭

中御門の南へ二條通を皇城の二坊大宮より... 中御門の内諸寮町... 坊と号す

西の院より四坊東洞院より... 元て六十四町... 銅駝坊と号す

中御門の南万里小路の東櫻樹多し... 中納言成範卿居住ん

中御門の南堀川の東南北二町... 桓武帝の皇子

中御門の東東洞院の西... 重信公の家

中御門の東東洞院の東... 院之井と号ん

春日の北馬丸の東... 松殿と号ん

小松殿

大炊内裏

冷泉院

小野宮

二條院

町尻殿

陽成院

法興院

数々殿

二條内裏

大炊御門の北町口の東... 光孝天皇降誕所と号ん

大炊御門の北東洞院の東... 里内裏の北見上

大炊御門の南堀川の西方二町... 嵯峨帝より累代後院を弘仁尊と号ん

大炊御門の南馬丸の東... 惟喬親王の家... 定頼公と号ん

二條の北堀川の東... 天曆帝の母后の御領

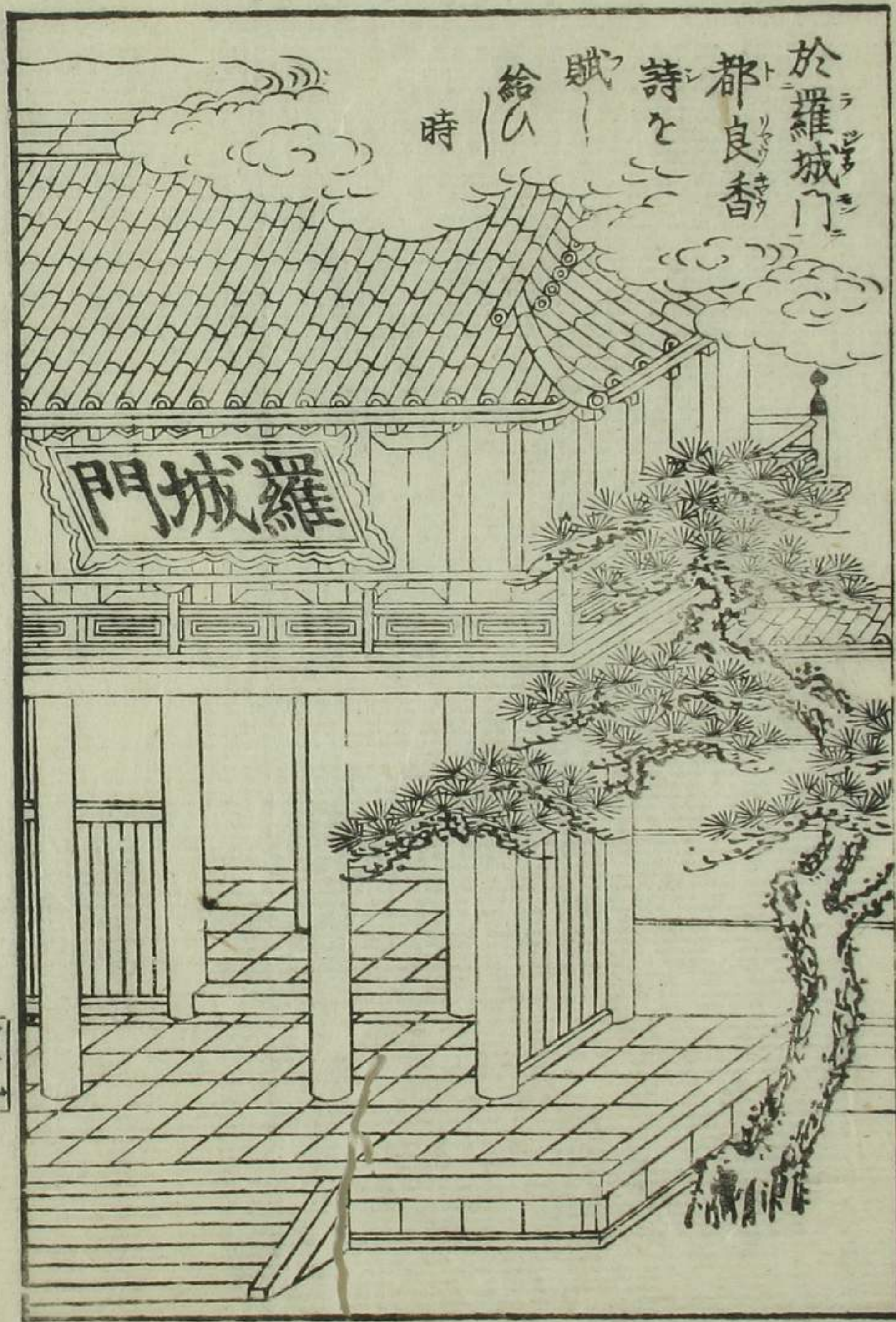
二條の北町口の東... 園白道兼公の家

陽成院の北西洞院の東... 陽成院の帝降誕所

二條の北京極の東... 初ハ東二條と号ん

二條の北鳥丸の東二町... 俊賢卿師尹公等の家... 御堂園白住等

二條の東東洞院の東... 里内裏の北見上



二條殿

二條の南 東山院の西。入道大相國道長公よりを管す

堀川院

二條の南二町堀川の東。昭宣公の家
忠義公 傳領

閑院

二條の南 堀川の西。冬嗣公の家
金剛水石を有す云々 公季公傳領

鴨院

二條の南 室町の南南北二町。堀川院の南院談所と云々
或曰院非在鴨井之北所む古井あり鴨つひに在て是く入と云

三條

陽 教業坊。一坊 二條より南へ三條通と四町朱雀通より大宮と
中二條坊門あり

二坊

大宮より 三坊 堀川院より 四坊 東山院より 五坊 朱雀通より 六坊 六十四町を 教業坊と号す

○長

安豐財坊 一説に蹴財坊 二條より南八直小長安へ通す 堀川より別院

東三條

二條の南 堀川の東 四條院の南は 漢所 或ハ重明親王の家
又忠仁公 貞仁公 大入道殿傳領 長久四年四月廿日焼亡

梅園

三條の南。名極の東
朝經卿の家

西三條内裏

長安三條の北 朱雀の南。百花亭と云々。此地長相大臣の邸と云々
里内裏の北 見上

押小路殿

押小路の南 室町の東 菩提院殿下つ家
又二條殿と号す

竹三條

押小路の東 東山院の東
二條院の南と云々

大西殿

二條坊門の北 万里小洛の南
二條右大臣定方公の家

中西殿

二條坊門の北 富小路の南
同卿の家

山井殿

二條坊門の北 名極の南 永頼三位の家 又信家卿
通頼卿 佐領悪所と云々

欽松殿

堀川の北 堀川の東
橋逸勢の家

高松殿

堀小路の北 西洞院の東 高明親王の家 天子時々存あり
ケルに 高松内裏と云々

御倉町

三條の北 烏丸の東 此地に内裏の別宮あり 所云
七條院御所と云々

三條院

三條の北 大宮の東
康義公の家

三條内裏

三條の北 東洞院の西より東三條と号す 一所同街町口の東より西三條と
号す 何れも 天子の別宮へ東三條より千金以埋むと云 原ハ濟家宅

御子左

長宗卿傳領

四條

陽永昌坊二坊 大宮と中むに多坊門あり 二坊 大宮より

三坊

東の院より 二坊 東の院より 允て六十四町に永昌坊とあり

○長

永寧坊 町敷 洛陽

鬼殿

二条の東の院の東 右佐の宅 又朝成が跡とあり

南院

二条の北 壬生の所 是忠親王の所

四條宮

四條の北 五條の東 大納言公任卿の所

五條

陽宣風坊 一坊 大宮より 五條 二坊 大宮より

三坊

東の院より 二坊 東の院より 允て六十四町に宣風坊とあり

○長

宣義坊 町敷 洛陽

紅梅殿

五條坊門の北町尻の北野御子の家とあり

天神御所

高辻の北の院の西 菅神降誕所

東五條

五條の南 東の院の東

五條院

五條の北 大宮の東 二坊 后宮の後院へ 天子時を以て

六條

陽淳風坊 一坊 東の院より 允て六十四町に淳風坊と号れ

三坊

東の院より 四坊 東の院より 允て六十四町に淳風坊と号れ

○長

光徳坊 町敷 洛陽

千種殿

六条坊門の南 五條の東 中務宮 貞平親王の家 保昌の所を傳領と

池亭

六条坊門の南 町尻 東隅 保衛の宅とあり

河原院

六条坊門の南 萬里小格の東 八町云々 嵯峨帝第三之皇子融左大臣の家 其後 寛平法皇御所 初ハ四町東六條院と号れ

北院

揚梅の北鳥丸の西。小六條院御領
故小六條殿も早次

鈞殿院

六条の北東洞院の東。光孝天皇御所。淳子内親王附屬と
六条院と号れ

中院

六条の北鳥丸の西。淳和帝の御所
其後信家卿不賜ふ

桂宮

六條の北西洞院の西
門系桂樹あり故わあつく

中六條殿

六条の北東洞院の西。寛平法皇御所
以亭前お池あり龍相通と云云

南院

六条の北。室町の東
小一条院の御領

六條院

六条の北。室町の東。祭主三位輔親卿の邸。池中小天橋幸の風景は
後と故お後土橋と地名は稱と。旧記の連理樹ありと云云。東本願寺の地あり

六條内裏

六條坊門の南。猪熊の東。まゝ市領十一町あり。毎日都鄙集會と
中頃萬壽禪寺とあり

東市屋

七條坊門の南。猪熊の東。まゝ市領十一町あり。毎日都鄙集會と
貨物を交易して市をあり。西本願寺の地と

七條陽安寧坊

六條より七條と四町朱雀通より。二坊。大宮より
大宮と中七條坊門あり。お旧院と

之坊

お旧院より。二坊。東洞院より。凡て六十四町を安寧坊と云ふ

安長

安長疏財坊。西夜。洛陽と

亭子院

七条坊門の北より南へ二町。お洞院のお二町
寛平法皇御所。藤東七條后温子の家

八條

洛陽崇仁坊。一坊。七条より南へ八条と四町朱雀通より。二坊。大宮より
お旧院と

三坊

お旧院より。二坊。東洞院より。凡て六十四町を崇仁坊と云ふ

安長

延嘉坊。町負。洛陽と

六宮

八條の北。朱雀の東。六孫王經基公の朱
今。大通寺

弘誓院

八条の南。東洞院の東
大紙言教家の宅

九條

洛陽陶他坊。一坊。八條より南へ九條と四町朱雀通より。二坊。大宮より
お旧院と

三坊

お旧院より。二坊。東洞院より。凡て六十四町を陶他坊と云ふ

○長安開建坊町敷俗陽

九條殿

九條坊門の南町尻の東
右大臣師輔公の家
①日置不春日禰あり

城興寺

九條の北 烏丸の西
太政大臣信長公の家
①日置観音堂あり

施薬院

九條の北 町尻の東
①施薬院あり

是より下長安の分

宇多院

土御門の北木辻の東
寛平法皇御所

栖霞寺

押小路の南東洞院の東融大臣の別荘
栖霞寺領

西三條

三條の北朱雀の西良相公の家
一名石夜公とおつ

西院

四條の北西大宮の東
橘皇太后宮御所
①西院あり

西宮

四條の北朱雀の西
高明親王の御所
①鯉子森あり

朱雀院

三條の南朱雀通の西八町
朱雀帝の仙院
原氏紅葉賀は朱雀院りきのりあり

小野殿

二條の北大宮の西
小野皇の家

小泉鹿

長安の中三十四町計あり
小泉領あり

花園

九條の北 朱雀の西
四町

西市屋

大宮の東西佐女牛の南ありて十二町あり
東市屋あり

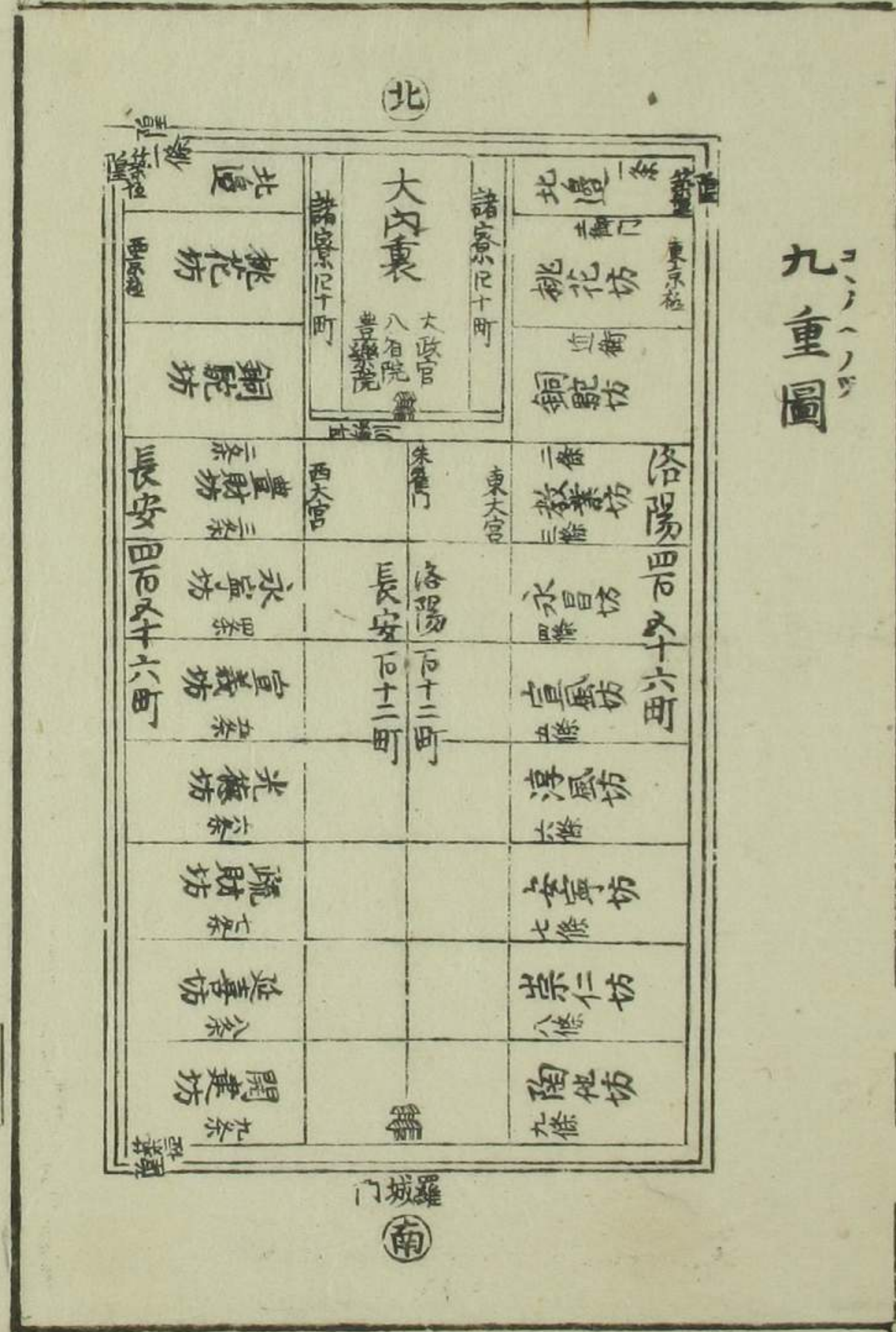
左獄

洛陽の近衛通西洞院
坪の隅あり

右獄

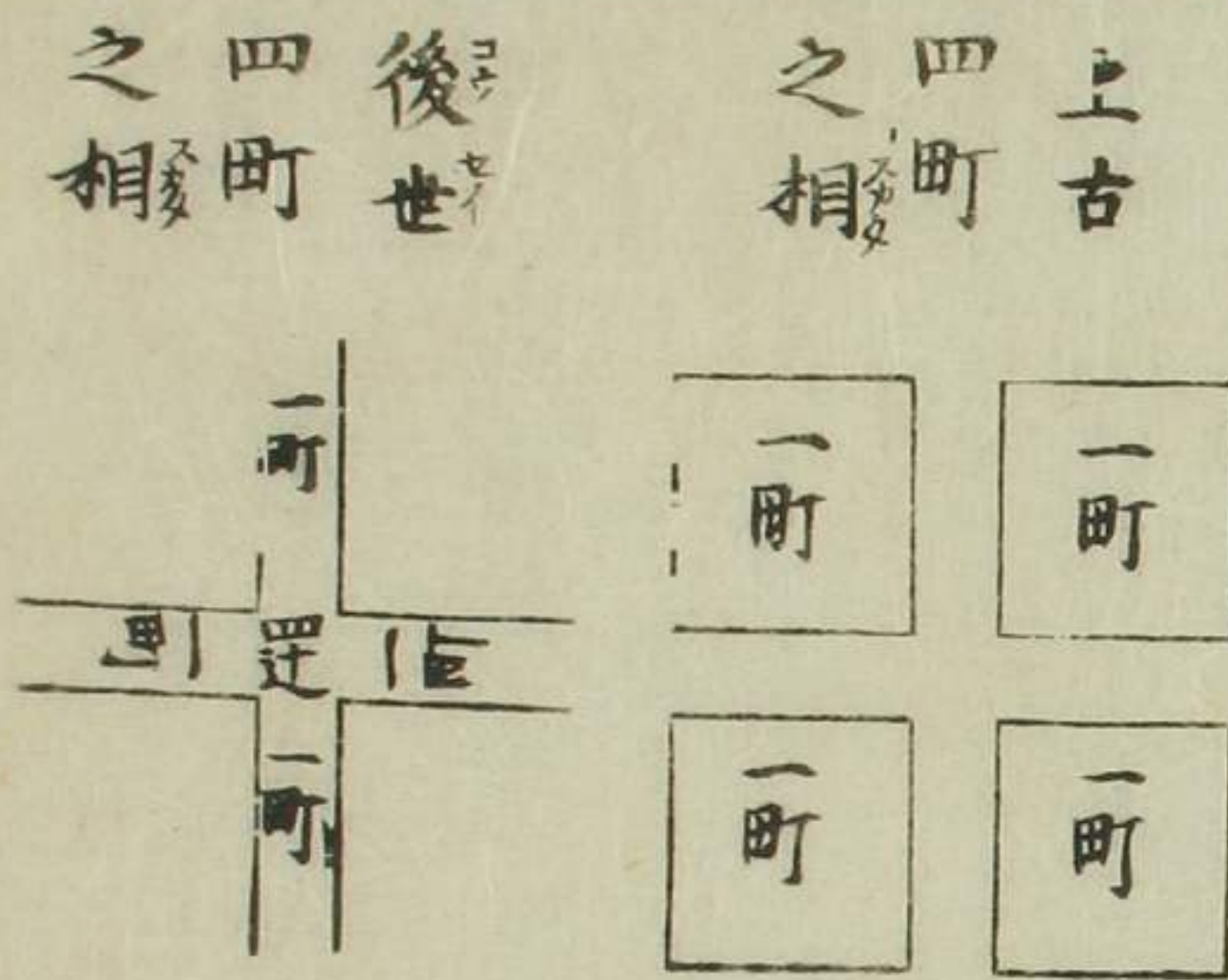
長安の堀川中御門の北
一町あり

九重圖



十四町

古今町之制及違變



上古の町式丈のやうに町と町と
 丈校田比の法を以て町校を負ふる
 今の町とては古より及て地理の相校か
 かりしは今も相向ひあはるる大略
 小治のけしきけしきかき町とて足
 道法を町とては之の形を圖に
 之川を考へる

上古兩京の町負一千二百十六所は今の世に道法を所し
積奉又縦通南北の四行を左右の樹に二行のありては
一小路の開きたる族ももれを往古の冊に教今の世に
大繁之増陪あり小あり

二千五百六十八町計の相當

京北の風し書大尾

下左尾

譚氏化書

道士譚景昇ノ著セル萬物ノ化生ニ譬テ神仙道化ノ
妙理ヲ説タル書ニシテ萬物ノ妙化ヲ悟リ人ノ性ヲ
養ヒ真ヲ保ノ道ヲ示セル實ニ珍奇ノ書ナリ

墨池鎖録

揚外庵ハ明朝第一ノ博學ニシテ古來ノ筆法ノ名説
確言ノ習字ノ人ニ益アル語ヲ録セリ古今筆法ヲ
説タル書多クレハ簡要ニメズセルハ此書ニ過タルハナレ

枕山樓茶畧

土地ニヨリ茶性ノ美惡アルヨリ功能製法貯藏等ノ法
マテ二十條ニ分テ委ク是ヲ拳ケ陸羽カ茶經ノ及ハナ
ル所ヲ發明セシ茶人必用ノ奇書ナリ

京二條通塲町東八町

書林

林芳兵衛

